



平成 27 年 12 月 15 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 エ ニ グ モ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 須 田 将 啓
最 高 経 営 責 任 者
(コード番号：3665 東証マザーズ)
問 い 合 わ せ 先 取 締 役 金 田 洋 一
コーポレートオペレーション本部長
TEL. 03-6894-3665

業績予想（個別）の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 27 年 3 月 17 日に公表いたしました平成 28 年 1 月期（平成 27 年 2 月 1 日～平成 28 年 1 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について 平成 28 年 1 月期個別業績

予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,436	702	702	432	20.2
今回修正予想 (B)	2,665	233	235	38	1.83
増 減 (B-A)	△771	△468	△466	△393	—
増 減 率 (%)	△22.5	△66.7	△66.4	△91.0	—
(ご参考)前期実績 (平成 27 年 1 月期)	2,285	1,196	1,200	708	33.64

2. 修正理由について

(1)

当社基幹事業でありますソーシャル・ショッピング・サイト「BUYMA(バイマ)」は、当期の重点施策であるマスキャンペーン効果により当第 3 四半期末時点の会員数は、前年同期比 130.6%の 2,731,875 人と 270 万人を突破し、第 1 四半期末以降の新規登録会員数は、367,470 人、前年同期比 138.5%と着実に積み上げを行うことが出来ました。また、第 4 四半期にもマスキャンペーンを展開し、より一層の会員獲得を進めてきております。登録会員数の順調な伸びに伴い、総取扱高は前年同期比 111.1%の 16,366 百万円と増加しました。総取扱高の四半期別の前年同期比推移としては、第 1 四半期 99.2%の 5,175 百万円、第 2 四半期 112.8%の 5,373 百万円、第 3 四半期 122.5%の 5,818 百万円と、為替の変動により鈍化した成長速度を着実に再加速させてきております。しかし一方で、マスキャンペーンを始めとする当期施策の広告効果を最大限に見込んだ 2016 年 1 月期通期業績予想(個別)における新規登録会員数の獲得が期初想定よりも遅延し、想定していた総取扱高 31,529 百万円に対する進捗率が、第 3 四半期末時点において 51.9%と遅れがでており、通期業績予想(個別)における売上高には至らない見込みとなりました。また、当社事業の特性上、売上高の未達に伴う販売費および一般管理費の大きな変動は発生しない見込みであります。

(2) 特別損失の計上について

当社の保有する Image Network, Inc. の株式について、当該会社の運営するサービスのクローズ及び会社を清算される旨が確認されたことに伴い、減損処理による投資有価証券評価損 123 百万円を計上いたしました。

なお、本件の評価損は、平成 28 年 1 月期第 3 四半期決算において、特別損失として計上しており、業績に与える影響につきましては、「平成 28 年 1 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載の通りであります。

(3) 特別損失の見込みについて

当社の保有する株式会社 stulio の株式について、当該会社の運営するサービスのクローズ及び会社の精算が決定されたことに伴い、第 4 四半期において投資有価証券の評価損による損失 135 百万円が発生する見込みであります。

上記 (1) ～ (3) に伴い、売上高、売上総利益、営業利益、経常利益および当期純利益は通期業績予想(個別)を下回る見込みでありますため、上記の通り通期業績予想(個別)を修正いたします。

(注) 上記に記載した予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上